

Press Release



2019年5月13日

コベストロジャパン株式会社

このプレスリリースは4月29日にドイツ・コベストロ社が発表したものを日本語に翻訳したもので、報道関係者各位へ参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語を優先します。原文は www.covestro.com をご参照ください。

厳しいビジネス環境の影響を受け想定通りの結果

コベストロ、第1四半期を終えて通年ガイダンスの 変更なし

- 主要製品販売量は微減（1.8%減）
- グループの売上高は約32億ユーロ（16.0%減）
- EBITDAは予想通りの4億4千2百万ユーロ（58.4%減）
- 純利益は1億7千9百万ユーロと前年度を下回る結果に（72.2%減）
- フリー・オペレーティング・キャッシュフローはマイナス4千5百万ユーロ
- 2019年通年のガイダンスは変更なし

ドイツ・レバークーゼン、2019年4月29日－

ドイツ株価指数（DAX）の構成銘柄であるコベストロの第1四半期は、予想通り厳しさを増す競争圧力の影響を受けた結果となりました。全体として堅調な需要であったにもかかわらず、主にポリカーボネート事業での販売量の低下により、主要製品の販売量は前年同期比で1.8%微減しました。また、販売価格の著しい下落によりグループの売上高は16%減の32億ユーロとなりました。EBITDAは非常に好調であった前年同期とは対照的に、予想の範囲内である4億4千2百万ユーロ（58.4%減）となりました。その結果、純利益は1億7千9百万ユーロとなりました（72.2%

減)。フリー・オペレーティング・キャッシュフロー（FOCF）は営業活動によるキャッシュフローの減少と投資の増加により、前年同期（3億6千4百万ユーロ）を下回るマイナス4千5百万ユーロとなりました。好調な業績を達成した前年同期を大きく下回る結果となりましたが、すべて予想の範囲内であり、2019年通年の業績見通しの変更はありません。

「第1四半期の業績はガイダンス通りでした。通年の業績見通しは変更しません。革新的で持続可能な当社の素材への需要は変わらず堅調に推移しているため、将来の成長に向けた投資と効率改善策を推進することがますます重要です」と、コベストロ CEO のマーカス・スタイレマンは述べています。

2019年通年の見通しは変更なし

「第1四半期の業績は、予想していた通り、多くの製品グループで非常に高い利益率を達成した前年同期には及ばない結果となりました。2019年は引き続き厳しいビジネス環境の影響を受けることを見越して、特に効率的な生産とプロセス、そして的を絞った投資に注力していきます」とコベストロ CFO のトーマス・トゥプファーは述べています。

この方針に沿って、コベストロは日本での合弁会社ディーアイシー コベストロ ポリマー株式会社への出資比率を2019年4月1日付で80%に引き上げ、今後有望な熱可塑性ポリウレタン事業を拡大しました。また今年、生産プラントの改修、増強、そしてスペシャリティフィルム事業などの成長分野に総額で9億ユーロ以上の投資を計画しています。効率改善策に取り組み、中期的に1年あたり3億5千万ユーロのコスト削減を達成できる見通しです。

コベストロは、2019年通年で主要製品の販売量が1桁前半から半ばのパーセンテージの増加率を見込んでいます。また、FOCFは3億ユーロから7億ユーロ、ROCEは8%から13%の間を見込んでおり、EBITDAは15億ユーロから20億ユーロと予測しています。2019年第2四半期のEBITDAは第1四半期と同水準の見込みです。

戦略的イニシアチブが前進

第1四半期はデジタル化とイノベーションを推進するための戦略的イニシアチブが進展しました。3月下旬に新しい企業間電子商取引プラットフォームのAsellion（アセリオン）が立ち上がり、今後は「covestro.asellion.com」のリンクから24時間いつでもオンラインで、しかも簡単にコベストロ製品を注文できるようになりました。

さらに、米国に拠点を置くバイオテクノロジー企業のジェノマティカ社と提携して、再生可能原料がベースの高機能素材の研究開発に取り組みます。持続可能な原料を使用することで、原油など化石燃料の使用を削減することを目指します。

塗料・接着剤・スペシャリティーズ事業で売上高、利益ともに伸長

ポリウレタン事業の第1四半期の主要製品の販売量は、前年同期と同レベルを維持しました(0.2%減)。売上高は24.3%減の14億7千6百万ユーロとなりました。これは販売価格の下落によりすべての地域で売上高が減少したことによるものです。EBITDAは利益率の低下により1億5千7百万ユーロ(75.4%減)となりました。

ポリカーボネート事業の主要製品の販売量は、自動車産業での需要減の影響を受け、6.3%減少しました。売上高は販売価格の下落により16.7%減の8億6千万ユーロとなりました。EBITDAは、利益率の低下と原材料価格の高止まりにより1億5千5百万ユーロに減少しました(48.8%減)。

塗料・接着剤・スペシャリティーズ事業の主要製品の販売量は、前年同期とほぼ同じ結果でした(0.1%減)。売上高は、平均販売価格の上昇と為替レートの変動の影響を受け5.9%増の6億2千7百万ユーロとなりました。EBITDAは7.4%増の1億4千6百万ユーロとなりました。

.....

コベストロ社について

コベストロ社は2018年売上高が146億ユーロの世界最大のポリマー製造企業のひとつです。主たる活動分野は、高機能ポリマー材料の生産、および日常生活の多くの分野で使用されている製品の革新的ソリューションの開発です。主要な顧客は、自動車、建築、木材加工や家具、電気・電子、スポーツ・レジャー、コスメティック、ヘルスケア、そして化学の各産業です。コベストロ社は、世界中の30拠点に生産施設があり、社員数は2018年末で約16,800人です。詳しくはこちらをご覧ください。www.covestro.jp, Twitter: <https://twitter.com/covestro>

【この件に関するお問い合わせ先】

コベストロジャパン株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園 1-7-6 クロスプレイス浜松町 7F

広報部 梅澤 Tel:03-6403-9112 / Fax:03-3436-1540

コベストログループの主要データ

	2018 Q1	2019 Q1	前年比
	(百万ユーロ)	(百万ユーロ)	%
主要製品販売量	0.0%	-1.8%	
売上高	3,779	3,175	-16.0
売上高差異			
販売量要因	-1.7%	+0.9%	
価格要因	+14.3%	-18.3%	
為替要因	- 7.2%	+2.4%	
製品構成要因	0.0%	- 1.0%	
EBITDA ※1	1,063	442	-58.4
EBIT ※2	907	264	-70.9
当期純利益	644	179	-72.2
フリー・オペレーティング・キャッシュフロー	364	(45)	

※2019年3月31日付（前年同月同日比）

※1 金利・税金・償却前利益

※2 金利・税引前利益

将来予想に関する記述（Forward-Looking Statements）

このニュースリリースには、コベストロ社による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述（Forward-Looking Statements）が含まれている可能性があります。さまざまな既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因にはコベストロのウェブサイト（www.covestro.com）に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。コベストロは、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負うものではありません。